

鎌原城址

鎌原氏の栄枯盛衰と当時の暮らしを伝える遺産

■■■人々の暮らし■■■

鎌原城は、吾妻川の右岸、鎌原集落の西側の浅间軽石流(浅间山第一小諸軽石流；平原火砕流；約1万3,000年前)の断崖に築かれた城で、吾妻川崖上の要害の地にありました。室町時代から江戸初期にわたって三原庄に勢力のあった鎌原氏が1397(応永4)年に築城したと伝えられており、浅间山の火山活動によって生じた天然の要害を利用した城として、当地域で活躍した鎌原氏の栄枯盛衰の歴史と合わせて貴重なサイトです。



鎌原城址石碑



整備された鎌原城跡